



# 手術室・中央材料室



当院の手術室では、年間約1,800例の手術を行っています。

小児を含む心臓外科手術をはじめ、外科、整形外科、産婦人科、腎臓外科等を含む幅広い診療科の患者様を対象としています。私達は、手術室における看護として、患者様の気持ちを捉えた看護を目指しています。手術前の患者様は手術範囲の大小に関わらず、殆どの方は緊張し、不安を抱えています。

そこで全身麻酔で手術を受けられる患者様に対しては、手術前日に訪問をさせて頂き、麻酔時の様子や、手術室の雰囲気伝え、且つ患者様のお気持ちを聞かせて頂きながら会話をし、不安の緩和に努めています。

また局所麻酔等で術中の状況がわかる患者様に対しては、状況に応じた説明や、細かい声かけを行い、時には音楽も使用し、少しでも落ち着いて手術が受けられるようにしています。

手術室スタッフは、外からは帽子とマスクで眼周囲しか見えませんが、『我々の声と手を』十分に用いながら、患者様のお気持ちに基づく看護を目指します。

